

ステップ	運 転 操 作	参 考 事 項	備 考
	<p style="text-align: center;">SGTSライン</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 非常用ガス処理系入口弁 (R/B 側) [BF3-5A, BF3-5B] の COS を全開位置にする。 (補 3) (SGTS が運転中の場合は停止する。) 2. SGTS A (B) の出入口弁を全開にする。 SGTS A 入口弁 BF3-6 SGTS A 出口弁 BF3-7 (SGTS B 入口弁 BF3-8) (SGTS B 出口弁 BF3-9) 3. 不活性ガス系隔離信号バイパススイッチを「圧力抑制室」 (S/P 水位計 OS の場合, 「格納容器」) 側にする。 4. PCV SGTS 側ベント弁 [A0-16-218] を「開」する。 5. 圧力抑制室ベント弁バイパス弁 [A0-16-206] (S/P 水位計 OS の場合, 格納容器ベント弁バイパス弁 [A0-16-208]) を現場手動ハンドルにより徐々に「開」とする。 (補 4) 6. SGTS A (B) 入口流量 FIC-76-185 (184) の指示を確認する。 (以上の操作で S/P (D/W) の減圧が) (できない場合には更に以下の操作を行う。) 7. SGTS A (B) を起動する。 8. 圧力抑制室ベント弁 [A0-16-205] (S/P 水位計 OS の場合, 格納容器ベント弁 [A0-16-207]) を開可能とするため, 下記隔離弁の隔離信号をバイパス (ジャンパー) する。 A0-16-205 PNL9-41 (T3) RB03Y04 ⑥_チ~RB04Y11 (SC1) _ケ ジャンパー A0-16-207 PNL9-41 (T3) RB03Y04 ⑤_キ~RB04Y10 (SC1) _ケ ジャンパー 9. 圧力抑制室ベント弁 [A0-16-205] (S/P 水位計 OS の場合, 格納容器ベント弁 [A0-16-207]) を「開」する。 (補 2) 	<p>(補 3) SGTS を PCV 排気運転モードに使用 する場合には, PCV 内のガスを原子 炉建屋に流入させないため SGTS 入口 隔離弁 [BF3-5A, BF3-5B] を全閉させ る必要がある。</p> <p>OS : オーバースケール</p> <p>(補 4) 圧力抑制室ベント弁バイパス弁 [A0-16-206] の「開」操作は, 現場の 手動ハンドルにより徐々に 行う。 CS 操作により開にすると, SGTS 及び パージファンラインの耐圧が低い ため破損し, 建屋内が PCV 内ガスにて 汚染する可能性がある。 (R/B に入れない場合, SGTS A (B) 入 口弁 [BF3-6 (8)] を手動にて徐々に 「開」操作する。 この場合, 2. で行う SGTS A (B) 入 口弁操作を 5. の後に行うこと。)</p> <p>(補 2) 圧力抑制室ベント弁 [A0-16-205] を開にすると, SGTS 及びパージファ ンラインの耐圧が低い ため破損し, 建屋内が PCV 内ガスにて汚染する可 能性がある。</p>	<p>参考資料 (参考 5) (図 4)</p>